（十一日夕刊）

磐城新聞

休刊　毎月三日曜
定價（壹枚二錢　五十錢）
廣告料（雑報欄　一行　九十錢　二十錢增）
發行兼編輯印刷人　福島縣平町　蓮沼龍輔
發行所　磐城新聞社

（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和二年十月十三日　磐城新聞　（木曜日）　第二千六十七號

親は斯く注意せよ

平町　石川こみ

野外遊戯だの遊戯だのと子供等は終日として飛はねてゐます。寒さが近づくに從つて火事季節には入るやうになります。子供にとつては一寸の火でも大變です。それぞれ危險區域或は家庭に面白くありません。こゝ爲めに遊戯園或は家庭に面い氣分一中一敎へ込むやうにしたらよいと思ひます。

たとへば「踏切りごつこ」一人は踏切り番になつて繩を持ち上げたり右と左をよく見てつまづかない樣落ちついて足早に通ること、汽車や電車がなかつた時はあはてゝ通つたりせず必ず待つやう、こゝよ工合に面白く遊戯を敎へこんだらよいと思ひます。又向ふから自轉車が、來た時あはてゝ右によけ左によけるのは、あぶないもので、片方に立どまつてゐるやうにして居れば却つて先分が避け易いことなど敎へてやることでせう又、町を練つて歩く樂隊のうしろを歩き迷ひ子になつたりしない小父さん等に菓子を與へられてつれられて行かないやうにと敎へることが必要で、迷ひごつこといふ遊びで之は敎へられます。寒さが近づくに從つて火事季節には入るやうになります。ちがひありません。が、一寸母親にとつては怪我をしなければいゝとそればかり心配になります、殊に電車、自動車、馬車の往來頻繁なところや踏切り近くに住んでゐる時には、學齡は愛兒を持つた親一是非必要なことでせう。又子供の大好きな「お醫者さんごつこ」で家庭でも勿論遊んでゐるのですから、そして早くもお消すとか大變だとか急場の處置方を敎へておくことも、冬を迎ふる今の季節として今から敎へておくことも必要でせう。又子供の大好きな「お醫者さんごつこ」で咳が出れば吸入や濕布をし早くなほすことなどを、おこませるやうにしたいものです。

危險を敎へ込むとよい。危險を敎へ込むと時着物や足袋は必ず手近にとり揃へておくこと、萬一炬燵とから着物に火がついた時無暗に戸外へ逃出さず蒲團を卷き着いて消すとか大變だとか急場の處置方を敎へておくことも、

危險については、萬一つかまつたら巡査に屆けるやうにと敎へることが必要で、迷ひごつこといふ遊びで之は敎へられます。寒さが近づくに從つて火事季節には入るやうになります。ちがひありません。が、一寸母親にとつては怪我をしなければいゝとそればかり心配になります、殊に電車、自動車、馬車の往來頻繁なところや踏切り近くに住んでゐる時には、學齡は愛兒を持つた親一是非必要なことでせう。又子供の大好きな「お醫者さんごつこ」で家庭でも勿論遊んでゐるのですから、そして早くもお消すとか大變だとか急場の處置方を敎へておくことも、

※……九月　新月　十日
※……明日　蒼月　十日
※……吉の凶　曆七暫　二日

▲一白我を助ける人排する人あり中正を採るが無事
▲二黑不振の如く見ゆれども勉め次第にて發展す
▲三碧表面の景氣に浮いた浮いたで身を亡ぼし易き日
▲四綠その職に忠實なれば貧乏神も逃げ去るべし
▲五黃矢鱈に計畫を立てるより祖業の平安を祈るが勝
▲六白氣緩みを生ぜぬ樣から勇壯らしい面魂に勵めば何事も成るべき日
▲七赤平運なれど遠き先を見越ての事は誤り多し
▲八白不祥事は無けれども心の落付かざる注意の日
▲九紫運氣一轉面目の革まる日新しき事業に吉し

講談

磐城病院

平町田町通り
電話一二四番

吉田眼科醫院

平町南町
電話一二九番

上田外科醫院

平町南町
電話一二九番

吉田新聞店

御需めの方は
平白銀町
電話四十八番

廣告

秋の時計を

蓄音器とレコードの御用は……
定評ある當店へ

平町四丁目
會田時計店
電話三六三

營業目種

内地材　材木各種、羽柄材各種
建築諸材　請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負
其他

佐藤材木店
常磐線平町　新川町
電話三三五番

のんですぐきく クノー散

神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏效的確なり　論より證據直ちに試みられよ

定價　三十錢、三十五錢、五十錢、一圓

平町各藥店ニテ特約販賣致します

深キ經驗ト　正シキ學理ヲ基トシテ　最新ノ設備ト　優秀ナル技巧ニ依リ

益々聲價漲ル　**多產簾賣**　**萬年瓦**

仙臺高等工業學校試驗証明

鐵道省　福島縣廳　栃木縣廳　青森縣廳　**指定品**

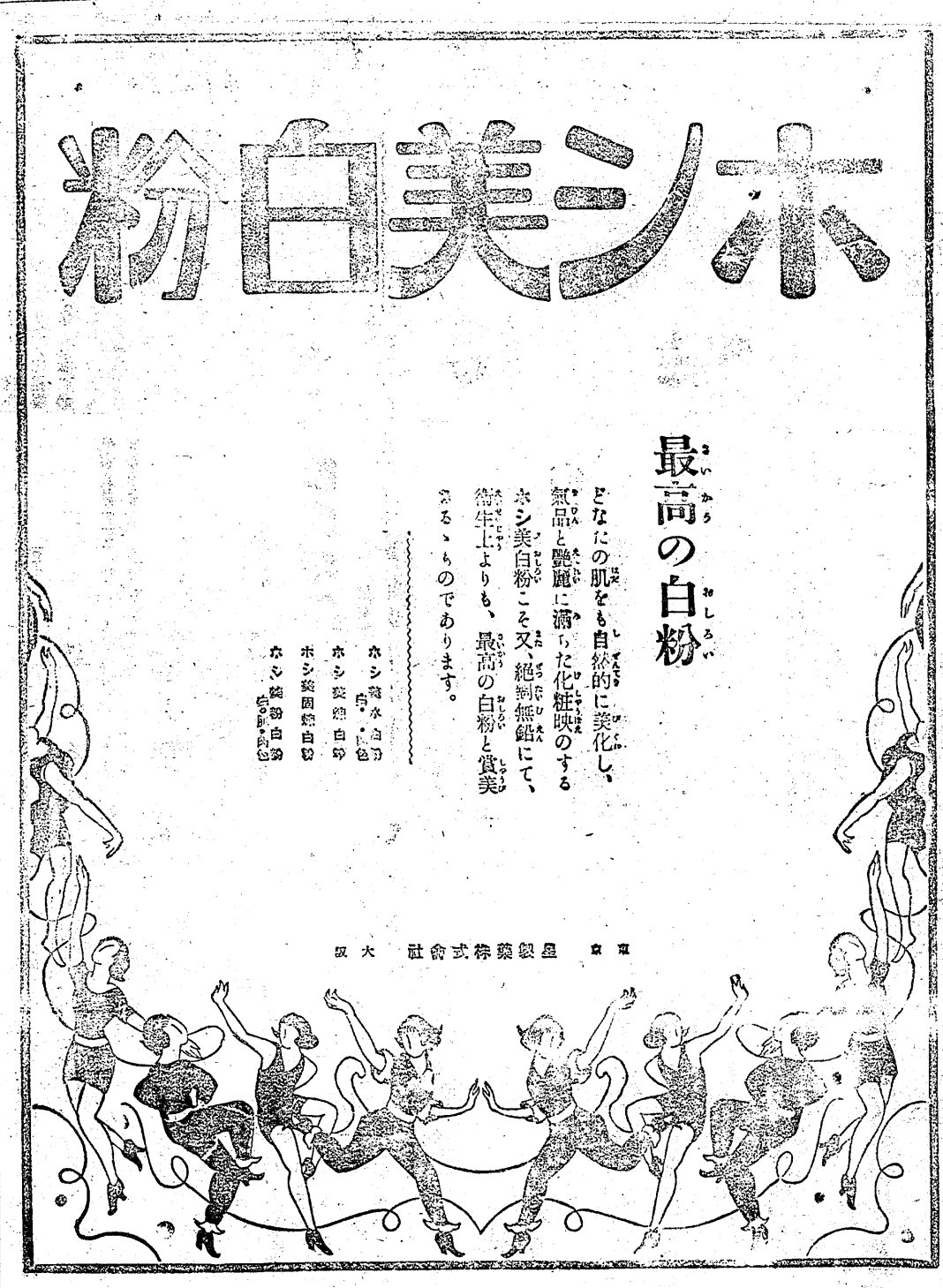
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話三八番

内科、小兒科
花柳病科
入院應需

藤沼醫院
平町紺屋町
電話平四五〇七番

外科、耳鼻咽喉科
内科、泌尿器科
光線科

外科小心堂病院
平町字田町
電話四七五



愈々小名濱港が 重要港灣に指定か
臨時港灣調査會に 修築案と共に附議

臨時港灣調査會は來る十八日午後一時から內相官邸に於いて開會さるゝ事となつたが附議さるゝ議案は次の如くである

第二種港灣指定
小名濱港
宮古港（岩手）

修築計劃
小名濱港
宮古港（岩手）

（東京電話）

万全を期すため 知事が上京
各方面に猛運動

小名濱重要港灣計劃の運命を決すべき臨時港灣調査會は別項の如く愈十八日午後一時から內相官邸に於いて開かれる事になつたが縣としては大体編入されるものと觀測してゐるものゝ更に目的貫徹する意味に於いて當日は伊東知事が上京關係各方面に對し掉尾の運動をする事に決定した尙地元小名濱町でも小野前縣議を始め町內有志が最萬全を期すため最後の猛運動を開始する事となつた

平町今年の 入營十四名
輜重輸卒は不明

平町から本年度壯丁檢査によつて合格し抽籤の結果出征現役兵證書を授與され入營の決定せるもの左の如く現役歩兵六名騎兵二名砲兵二名工兵一名鐵道兵一名飛行兵輜重兵各一名合計十四名であるが輜重輸卒の入營者は未だ決定してゐないと

近歩三野木秀文　歩二九谷川清　猪狩滿好　大谷清　佐藤源三郎　川村武義　騎二諸橋安彥　鈴木文雄　野砲二安川源次　松澤弘　工兵二小林久吉　鐵道一長谷川重雄　飛行兵五壁光春　輜重兵二鈴木甚四郎

尙補充兵證書を授與されたものは左の通りである

歩兵堤五郎　小泉政美　馬目光三郎　齋藤三郎　小河內正次郎　小野敏　馬目勝彌　酒井二郎　鈴木政夫　佐々木左武郎　林阜郎　二瓶猛　織田時松　諸橋敏一郎　酒井信夫　鈴木實　關內仁平　鈴木昂　騎兵關內甚平　吉田吉枝　根本武雄　鈴木百三郎　大泉武雄　小池一郎　永木仁平　鈴木豊致

盛大に擧行される 水道竣工祝賀會
役員其の他を決定し 町當局準備に努む

平町の水道竣工祝賀式は既報の如く來る十六日を期して盛大に擧行さるゝが當日は伊東知事を始め顯官多數を迎ふるため町當局では目下伏見町長以下吏員總出動で此れが應接準備に忙殺されてゐるが當日の役員は大体次の如く決定した

△總務佐藤助役△庶務係長小野書記△式場設備係長（不）八幡小路式場係長遠藤書記（ロ）平劇場宴會場係長花澤書記△受付係小野書記△式場係酒井書記△調度係香野技手△記念品係小野書記△接待係長佐藤助役△餘興係渡邊書記　以上

其の他全吏員を各係に配して接待に努める筈である

十月現在の 清酒持越高 八千七百餘石

平税務署管內に於ける十月現在清酒持越高は八千七百廿五石と言ふ夥しい數字を示してゐるが此を前年同期の九千二百卅一石と比較すれば五百六石の激減でいさゝか上戸黨には物寂しく感ぜられるが此は郡內一般の釀造家が不景氣を見越して前年より一層釀造額を減少した結果である事は勿論で決して地方の需要が增加してゐる譯でもなく一方地方に於ける目下の相場は石當り八十圓內外と言ふ未曾有の大安値で此れに四十圓の税金を納めなければならないので原料なぞは殆んど丸損と言ふ狀態であるだけに當業者の苦況も一入で此れがため今年の釀造見込高も前年より一千二百六十石を減じ二萬百石足らずと豫想されてゐる

政府買上が利いて 石城米奔騰
昨今一石一圓ぐらい 農家愁眉を開く

政府が曩に發表して米價の低落を調節する意味の買上げは方法に於て到底低落を防止し得る程度條件を具備してゐなかつた爲め何等の反響もなく遂に其效なく好轉せしむる能はざりし況程發展し、第一次の買條件としては新米に向つて之れを行ふと言ふのである爲若し之れが實現を見るならば新米出盛り期に於て相當市場に影響齎すべきは當然なる爲買上値段其他に就ては未だ公表なきも新米の買上をなすべき政府の聲早く本町地方米穀市場では商情硬化し檢査品四等は二十八圓前後を唱へら前數日前に比し一圓方の昂進を示し目先高を見越さるゝに至つた

湯本校運動會

石城郡湯本尋常高等小學校では來る十四日同分校たる入山湯本尋常小學校では十六日夫々秋季運動會を開催すると

慰勞金の 受取人不明
平町役場で調査中 弟が判明交附濟み

平町三丁目十五番地川村源一方雁人和田幾夫の實兄に當る和田秋爾は往年西伯利亞事件當時東京砲兵工廠小銃製造所に職工として雇はれゐる內病死したが同廠より四十圓の慰勞金交付に際し秋爾の關係人所在不明により交付不能となり其儘となつてゐた處此程前記幾美が平町に住居してゐる事判明したので平町役場に之れが手續方を同廠から依頼して來たので同役場では直に之れが交附手續の斡旋中であるが該慰勞金は七ヶ年を經過すれば無效となるもので其期限は本月十七日になつてゐたと

生活百態（六）
驚く程儲かる 割のよい魚屋さんに
成金が出來ない尤もな言譯

朝、魚屋が魚市場で一尾一錢位で買つてきた烏賊が臺所に現はれて『今日は、けふの御用は如何樣で……』なんかやる頃には、五錢から七錢、ひどいのになると十錢位にセリ上げてしまふ、萬事がこの調子、一尾の鯛、一片の鮪でも、魚屋を通じて吾々の口に入るまでには法外もない高いものになつてゐる

斯ふ言へば魚屋といふ商賣はひどくボリ屋のやうだが、そこは泥棒にも三分の理窟といふものがあるからには、魚屋にだつて尤もらしい理由をもつてるには違ひないのだ

「魚屋が貴下たちがみなやうに儲かつたら、成金がウヨ／＼出來でゐたつていゝ筈ですね、莫迦々々しい話です、一遍魚屋の內幕を覗いてごらんなさい、朝大體の目安をつけて市場から買つてきた魚の全部が全部その日のうちにチャン／＼片付けば文句は無いのですがね、夏なんかは、なるべく手控へ目に買出しておいても半分は腐らしてしまひますよ、つまりその損失、みてたかねば魚屋は立ち行きません」とまくしたてる

つまり魚屋を助けて行くために高い肴を口に入れてそれで結構々々と舌鼓を打つてゐることにもなく、市の魚屋の數も隨分多いが、いゝ得意でもしつかりもつてゐる一流魚商ならば兎も角近頃では殆ど休業同樣の小店、腐るほどある、營業してゐて食へないから匙を投げてゐるのだ

儲けが強いといへば小面憎くもなるが、魚屋位愛嬌がよくつて活潑なものはない、魚屋の威勢のいゝ懸聲をきくと腐つた魚、ピン／＼してくるだらう

酣けてゆく スポーツ秋
野球、庭球等々

運動シーズンに入つた當地方、昨今は各種競技が矢つぎ早やに催されて愛好者を限りないスポーツの陶醉境へ引入れてゆく

△縣立磐城高等女學校では例年の樣に、七日午前八時から同校々庭で陸上運動會を△過般遠征したオール平軍のために慘敗した日立鑛山野球部は十六日來平磐城グランドに於いてオール平と雪辱戰△常磐炭礦庭球部主催第二回濱東北庭球大會は十六日午前八時から湯本町天王崎コートで擧行されるが參加申込チーム數十有餘を突破し當日は盛觀を豫想されて△いはらき新聞社支局主催少年野球大會は七八日本社主催少年庭球大會は二十三日各々秋のスポーツ界を彩るものと前人氣素晴しく斯くて快スポーツの秋は酣けてゆく

湯本青年野球

石城郡湯本町青年野球倶樂部では十六日午前十時より同小學校庭で入山野球部と對戰すると

馬車諸共 老人慘死
丈餘の崖へ顚落

大野村字中島曾田芳松（六〇）は九日午後五時半ごろ娘はるみと共に同郡四倉町から肥料桶五個を荷馬車に積み歸宅の途中四倉町字町田磐城街道鐵道踏切の急坂に差しかゝつた際馬をいたわらんとて馬を放し荷車を自分が挽き上げんとした際荷車の後方に積んだ肥料桶が重かつたゝめ中心を失つて轉落し馬車諸共一丈餘の崖下に轉落し馬車の下敷となつて慘死した

不良の徒の出沒に 手を燒く平署
今度こそは用捨なく 片つ端から檢擧

昨今市內に散在する十數餘のカフエー、バー或は平館、有聲座等の活動館に出入する不良の徒が著しく增加して靜かに見てたる見物人や或は僅かな酒に疲れを慰籍してたる善良な人達に混つて婦女子に對しけしからぬ態度に出たり喧嘩をしては酒代を稼ぐ等のものが續出する有樣なので平署では過般來から此等不良の徒を片端から嚴重に取締るべくそれ／＼猪狩署長から係官に命するところあつたが彼等不良の徒の出沒は頗る巧妙を極め平署でも手古摺つた數日前市內某活動館に姿を現した數名の廿歲前後の青年達が階下正面に陣取つて居たが彼等の前方の座をしめて居た二人連の十八九歲位の婦人に對しけしからぬ態度に出で果ては婦人客身体恥部に手を掛けまじき程の亂暴さに件の婦人客は見物中ばに外に出てしまつたが此等不良の徒が多いために婦人客は日一日活動館內から其の數を減んじてゐる程である

稻の刈入
最も早いのは赤井

本郡地方の稻作も愈々刈入時期が近付いて來たので一般農家は刈入の準備に餘念ないが最も早いのは赤井小川方面で既に弗々刈入に着手してゐる處もある程で次いで郡南植田近傍から平町附近の飯野神谷方面なぞも此處數日中には刈入に着手するものと豫想されてゐるが當地方は當初の豫想通り別段の被害も蒙つてゐないから豫想以上の豐收を見るものと言はれてゐる

劇と映畫

△平館……十三日全部寫眞替り人氣第一の河部五郎主演『照る日曇る日』の最終篇好評　阪妻映畫中での傑作『邪痕魔道』の最終篇其の他喜劇界の人氣者新井淳主演『落花の踊り』で前人氣よし

道路敷設の 委員會
今日午後二時から

平町南町の新市街路敷設實行委員會は今十二日午後二時から山崎委員長以下全委員出席の上開催されたが協議事項は次の如くである

△賠償金收入の狀態及整理の件△第二回補償金の殘額報告△配當所有地の一部變更承認の件△賠償金の一部分納承認の件△昨年度補助工事に關する決算報告の件

尙町の土地所有者に對する補償金並に賠償金は總額三萬五百七十八圓であるが寄附金が一萬一千五百餘圓收納濟みであるため殘額一萬九千餘圓に對する補償の方途を講ずればよい譯である

社告

野矢安孝

右者九月廿五日限り本社と全然關係無之候に就き御含み置被下度爲念社告候也

磐城經濟新報社

齒科口腔一般

診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）但シ急患ハ此限リニアラズ

平町南町成田山前

鈴木齒科醫院

齒科醫 鈴木五郎

寒さに是非……

毛糸各種 新荷着

手編用に防寒用にイヨ／＼需用が激增してまゐりました。是非御用命を

平町三町目

三井呉服店

電話三十八番

平町南町

大和田病院

電話一七〇番

平町田町

高久病院

電話五一三番

御料理 鰻蒲燒 仕出し

平館隣り

魚榮

電話四二四番

平町舊城跡

青沼醫院

電話四〇三番

日々皆樣の御最負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉强仕り候是非引續き御愛顧の程御願申上候

記

期間 十二月末日マデ

……(◎)……

梅 參圓也（御一人前 藝妓、車賃往復 御酒御料理三品）

松 五圓也（御一人前 藝妓、車賃往復 御料理五品）

櫻 七圓也（二人樣デモ差支アリマセン 藝妓、車賃往復 御料理七品）

（以上現金ニ限ル）

松ケ岡公園池ノ端

割烹 ときわ

電二二六番

診察無料

如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい

院長博士 敬白

大谷時計病院

電話一一九番

從五位勳四等白井遠平永々病氣の處本月九日午後四時死去致候に付此段謹告仕候

追而葬儀は平町字南町新道に齋場を設け十五日午前十時より午後一時迄相營み可申候

本廣告ヲ以テ御通知ニ代へ申候

昭和二年十月十日

嗣子 白井博之

親戚總代 白井菊造

友人總代 男爵 田中義一

高橋是清

川崎八右衛門

小林富吉

安島重三郎

山崎與三郎

諸橋久太郎